

2023 年度

八百津町 河川水質調査報告書

八百津町 水道環境課

2024 年 3 月

2023 年度河川水質調査報告

調査地点は、中山川 公民分館前水門 下流側、飯田川 中屋敷水管橋 上流側等 16 地点で調査を行い、地点調査項目ごとの平均値と前年度との変動グラフを添付して比較検討を行う。

調査日 1. 2023 年 4 月 25 日
2. 2023 年 11 月 22 日

調査場所	NO. 1	荒川	荒川橋 歩道橋	上流側
	NO. 2	荒川	五宝滝駐車場前	頭首工
	NO. 3	南宮川	東橋	下流側
	NO. 4	油皆洞川	油皆洞橋 歩道橋	下流側
	NO. 5	杣沢川	東部農村センター下	農道橋 上流側
	No. 6	宮川	大洞川合流点 橋梁	下流側
	NO. 7	辛沢川	稻荷前 橋梁	下流側
	NO. 8	中山川	公民分館前水門	下流側
	NO. 9	飯田川	中屋敷水管橋	上流側
	NO. 10	天王川	天王橋	上流約 20m
	NO. 11	石川	石川橋	下流側
	NO. 12	下田川	下田 農道橋	下流側
	NO. 13	祝谷	薄野 水門	
	NO. 14	長曾川	追分橋	下流約 10m
	NO. 15	旅足川	水遊び場	下流約 10m
	NO. 16	名場居川	篠原 農道橋	下流側

1. 八百津町内の公共河川の環境基準

公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定の中で、八百津町の公共河川の環境基準値は、木曾川中流のA類型に該当します。

水 域	該 当 類 型
木 曾 川 上 流 (落合ダムより上流)	A A
木 曾 川 中 流 (落合ダムより犬山頭首工まで)	A
八 百 津 町 河 川	A

A類型の基準値

水素イオン濃度 (pH)	pH=6.5～pH=8.5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	2 mg/L以下
浮遊物質 (SS)	25 mg/L以下
溶存酸素 (DO)	7.5 mg/L以上
大腸菌数	300CFU/100mL以下

等となっています。

- 調査項目
1. 水素イオン濃度 (pH)
 2. 生物化学的酸素要求量 (BOD)
 3. 化学的酸素要求量 (COD)
 4. 浮遊物質 (SS)
 5. 溶存酸素 (DO)
 6. 全窒素 (T-N)
 7. 全磷 (T-P)
 8. 大腸菌数

3. 結果の評価

1) 年間（年2回）の各項目の平均値を算出し、基準項目が水域類型の環境基準に適合しているか否かの評価を行い、調査地点の該当類型を表にした。

水域類型	調査場所
AA類型	NO. 1 荒川 荒川橋 歩道橋 上流側 NO. 4 油皆洞川 油皆洞橋 歩道橋 下流側 NO. 5 杣沢川 東部農村センター下 農道橋 上流側 NO. 6 天王川 大洞川合流点 橋梁 下流側 NO. 7 辛沢川 稲荷前 橋梁 下流側 NO. 8 中山川 公民分館前水門 下流側 NO. 9 飯田川 中屋敷水管橋 上流側 NO. 10 天王川 天王橋 上流約 20m NO. 11 石川 石川橋 下流側 NO. 12 下田川 下田 農道橋 下流側 NO. 13 祝谷 薄野 水門 NO. 14 長曾川 追分橋 下流約 10m NO. 16 名場居川 篠原 農道橋 下流側
A 類型	NO. 2 荒川 五宝滝駐車場前 頭首工 NO. 3 南宮川 東橋 下流側 NO. 15 旅足川 水遊び場 下流約 10m
B 類型	該当なし
C 類型	該当なし
該当類型なし	該当なし

2) 2022年度より環境濃度が改善された河川

調 査 地 点	2022 年度類型	2023 年度類型
NO. 3 南宮川 東橋 下流側	A	A A
NO. 8 中山川 公民分館前水門 下流側	該当類型なし	A

2 調査地点で河川水の環境濃度が改善されました。

3) 2022年度より環境濃度が横ばいであった河川

調 査 地 点	2022 年度類型	2023 年度類型
NO. 1 荒川 荒川橋 歩道橋 上流側	A	A
NO. 2 荒川 五宝滝駐車場前 頭首工	A A	A A
NO. 4 油皆洞川 油皆洞橋 歩道橋 下流	A	A
NO. 6 宮川 大洞川合流点 橋梁 下流側	A	A
NO. 9 飯田川 中屋敷水管橋 上流側	A	A
NO. 10 天王川 天王橋 上流約 20m	A	A
NO. 11 石川 石川橋 下流側	A	A
NO. 12 下田川 下田 農道橋 下流側	A	A
NO. 13 祝谷 薄野 水門	A	A
NO. 15 旅足川 水遊び場 下流約 10m	A A	A A
NO. 16 名場居川 篠原 農道橋 下流側	A	A

11 調査地点で河川水の環境濃度に変化なし。

4) 2022年度より環境汚染が進んでいる河川

調 査 地 点	2022 年度類型	2023 年度類型
NO. 5 杣沢川 東部農村センター下 農道橋 上流側	A A	A
NO. 7 辛沢川 稻荷前 橋梁 下流側	A A	A
NO. 14 長曾川 追分橋 下流約 10m	A A	A

3 調査地点で河川水の環境汚染が進んでいた。

4. 考察

1) AA類型の河川水域は以下の13調査地点でした。

「NO. 1 荒川 荒川橋 歩道橋 上流側」、「NO. 4 油皆洞川 油皆洞橋 歩道橋 下流」、「NO. 5 杣沢川 東部農村センター下 農道橋 上流側」、「NO. 6 天王川 大洞川合流点 橋梁 下流側」、「NO. 7 辛沢川 稻荷前 橋梁 下流側」、「NO. 8 中山川 公民分館前水門 下流側」、「NO. 9 飯田川 中屋敷水管橋 上流側」、「NO. 10 天王川 天王橋 上流約20m」、「NO. 11 石川 石川橋 下流側」、「NO. 12 下田川 下田 農道橋 下流側」、「NO. 13 祝谷 薄野 水門」、「NO. 14 長曾川 追分橋 下流約10m」、「NO. 16 名場居川 篠原 農道橋 下流側」

2) A類型の河川水域は以下の3調査地点でした。

「NO. 2 荒川 五宝滝駐車場前 頭首工」、「NO. 3 南宮川 東橋 下流側」、「NO. 15 旅足川 水遊び場 下流約10m」

3) B類型の河川水域はありませんでした。

4) C類型の河川水域はありませんでした。

5) D類型の河川水域はありませんでした。

2023年度の調査では、AA類型に該当する調査地点が13調査地点、A類型に該当する調査地点が3調査地点ありました。「NO. 8 中山川 公民分館前水門 下流側」は水素イオン濃度（pH）が改善したため、A類型に該当するようになりました。A類型に該当する3調査地点は大腸菌数が減少すればAA類型に環境濃度が改善します。